

強くやさしく男の子 やさしく強く女の子

9月の校長講話（要約） 「こま」のはなし

2学期が始まって3週間ほどが過ぎました。大雨や台風で天気が心配な日がありました。皆さんは学校の生活のペースに戻れましたか。来週は6年生の修学旅行があります。6年生の皆さんはたくさんのお話を学んでください。また、5年生の皆さんには、6年生が留守の間学校のことをよろしくお願ひします。

さて、今日は「独楽（こま）」の話です。「こま」を見ながら校長先生が考えていることをお話しします。「こま」と言ってもいろいろな種類があります。何種類か持ってきたので、紹介します。形が違うこともそうなのですが、回し方もそれぞれです。回してみるの、見てください。

このように「こま」と言ってもそれぞれ個性があるのです。みんなと同じです。小学生、子どもと言ってもみんな個性をもっています。どれが、または誰が一番というものではありません。「こま」であれば、その「こま」らしく回ることができればよいのです。みんなも一人一人に個性があるので、自分らしさを発揮してほしいと思うのです。

でも、まだ自分は何が得意なのか、何が好きなのか、何をやりたいのか、自分らしさと言われてもわからない人がほとんどだと思います。だからこそ、学校での勉強が大切なのです。たくさんのお話いろいろなことを勉強することで、自分のやりたいこと、自分らしさを見つけてほしいのです。

もう一つ考えたことがあります。「こま」は自分だけでは回ることができないのです。誰かに回してもらわなければなりません。みんなに自分らしさを発揮してほしいと話しましたが、自分だけで輝くのはなかなか難しいものです。周りの人に手伝ってもらい、教えてもらい、励ましてもらうことが大切です。

周りの人と言うのは、家族であったり、友だちであったり、地域の方々であったり、学校の先生方であったり、習い事の先生たちであったりたくさんいるはずですが、その周りの人たちに励まされ、勇気づけられて皆さんは輝き続けることができると思うのです。ですから、いつも周囲への感謝の気持ちを忘れてはいけません。

また、逆にみんなが友だちを励まし、勇気づけていることがたくさんあるはずですが、例えば、校内水泳記録会の時の応援です。黒森小学校のみんなにはお互いに励まし合い、勇気づけ合いながら、自分らしく輝いてほしいと願っています。

【子どもたちの声】

・金子みすずの「わたしと小鳥とすずと」という詩にも「みんなちがって、みんないい。」というところがあるので、校長先生のおしゃったとおりました。（星川明海さん）